

研究課題名：	院外心停止患者の院内死亡率と神経学的予後を SOFAscore を用いて予測した臨床研究
研究機関名 所属（診療科等）：	研究事務局 さいたま赤十字病院 循環器内科 松田 隼治 総合研究代表者 さいたま赤十字病院 循環器内科 松田 隼治
研究責任者及び職名：	さいたま赤十字病院 循環器内科 松田 隼治
研究期間：	2015年 1月 1日 ～ 2019年 3月 31日
研究の目的と意義：	院外心停止の患者は自己心拍再開後もその後の生命予後、神経学的予後は不良である。院外心停止の患者様は自己心拍再開後に、心拍再開後症候群という敗血症様の全身状態の悪化を来たすことが要因の一つである。一方で近年敗血症の診断を SOFAscore (Sequential Organ Failure Assessment score：呼吸、循環系や中枢神経、肝臓、腎臓、凝固系といった臓器障害を簡便に数値化し、その合計点で重症度判定にもちいる指標)を用いて行うようにガイドラインが変更された。しかし院外心停止を来たし蘇生された患者の院内死亡率や神経学的予後も SOFA score を用いて評価できるかはわかっていない。本研究では心血管原性の院外心停止患者様の院内死亡率と神経学的予後 SOFAscore を用いて予測する事が可能か検討する。
研究内容：	当院救命センターに搬送された院外心停止患者様の中から自己心拍再開し心血管原性が疑われた患者を対象とする。30日後の院内死亡率、神経学的予後を予測するため、患者様の基本的な特性、病院前情報、SOFAscore を含めた入院後情報を後ろ向きに電子カルテから情報を収集する。対象患者様より取得した上記診療情報を用いる、介入・侵襲を伴わない後ろ向き観察研究。
個人情報の取り扱い	研究実施に係る情報を取り扱う際には予め患者様の個人情報とは無関係な番号を付して情報を管理する。患者様の個人情報が院外へ漏れないように十分配慮する。
問い合わせ先： (拒否等の受付窓口)	【研究担当者】 所属：さいたま赤十字病院 循環器内科 氏名：松田 隼治 住所：埼玉県さいたま市中央区新都心 1 番地 5 電話：048-852-1111